

会 議 録

会議の名称		令和7年度第4回桜学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月9日（月） 開会 9:30 閉会 11:10		
開催場所		つくば市立栗原小学校家庭科室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	中埜 貴元、水谷 浩子、酒井 政彦、飯島 忠夫 後藤 美千代、橋本 幸雄、白砂 統己、中泉 正市 天貝 貢、宮本 健次、飯岡 達郎 桜中学校：校長 小林 力 栄小学校：校長 君和田 裕之 九重小学校：校長 中原 卓治 栗原小学校：校長 関 美智子 教頭 山田 智久		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課社会教育主事：村上 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「学校の教育活動における今年度の成果と課題」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 授業参観（中止） 4 協議 (1) 第3回桜学園コミュニティ・スクールの振り返り (2) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介 (3) 熟議「学校の教育活動における今年度の成果と課題」 (4) その他 5 閉会			

<審議内容>

1 開会

○水谷副会長：ただ今から、令和7年度第4回桜学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。本日は久松会長が欠席のため、私水谷が議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議に関しては、「つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例」第3条に基づき、公開とする。また、会議録については後日つくば市教育委員会ホームページに公開予定である。

2 挨拶

- ・水谷副会長からの挨拶
- ・小林学園長からの挨拶（各校からの報告と合わせて行う）

3 授業参観

山田委員：雪のため、児童の登校時間を遅らせている。そのため、授業が遅れて行われるため、参観は行わない。

4 協議

(1) 第3回桜学園コミュニティ・スクールの振り返り

○水谷副会長：まずは第3回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたい。

前回の要点をまとめますとさくら小学校の開校によるCS組織の変化を確認したり、来年度を見据えた今後の活動についての改善点について各校で話し合ったりしてきた。

なお、詳しい内容に関しては、教育委員会ホームページに掲載されているので御確認いただきたい。

(2) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介

○学園の教育活動について

栄小学校（君和田委員）：

- ・インフルエンザB型の流行（1年生を除いて学級閉鎖）

- ・ 2月14日に栄市街地活性化協議会と連携して、音楽会を実施する予定である。

九重小学校（中原委員）：

- ・ かぜ、インフルエンザが流行しているが、学級閉鎖はない
- ・ 5年生が上ノ室、妻木のおはやし保存会の協力により実演披露を実施した。

栗原小学校（関委員）：

- ・ 1月26日から学級閉鎖が相次いでいる。
- ・ 12月1日に1～4年生対象に防災かるたを使った防災教室（講師：水谷先生）を実施
- ・ 12月2日150周年記念集会を児童企画で実施した。
- ・ 保護者、地域の方の協力で、読み聞かせ、はやぶさ教室を定期的に行っている。

桜中学校（小林委員）：

- ・ 学校の様子少しずつ変化していることに危惧している。
- ・ 教員、保護者も時代とともに変化している中で、コミュニティ・スクールの役割は重要と考えている。

○地域や保護者から伝えたい取組等の報告について

水谷副会長：青少年相談員による店舗まわりでコンビニ等を訪れている。青少年の夜遅くの来店や家で頼まれて酒類の購入をするときには注意を呼び掛けている。

関委員：

- ・ さくら小学校開校準備委員会を実施した。
- ・ 保護者組織についてのアンケートを実施予定である。
- ・ 次回の委員会では、校歌披露も予定されている。また、地域向けの内覧会も3月に予定されている。

(3) 熟議「学校の教育活動における今年度の成果と課題」

○水谷副会長：これより、熟議に入りますが、熟議を進行するに当たり、ファシリテーターを栗原小学校教頭 山田委員にお願いしたい。

○山田委員：桜学園4校の学校評価を集約した結果を説明したい。学力向上、豊かな心、健康・安全、学校・教師の姿、家庭での様子、小中一貫教育につ

いて、児童・生徒、教員、保護者の評価について説明したい。

ほとんどの項目で8割から9割近くが肯定的な評価をいただいた。

○グループでの熟議（40分間）

○グループごとの発表

栄小学校：

- ・国語の大切さについて、読書の結果から授業等で読む力、書く力をつけていくことが大切である。
- ・子供の経験値が足りないことから、安全教育の充実が必要である。
- ・教職員と地域のつながりをさらに強くしていきたい。

九重小学校：

- ・学力向上について、地域の関心も高い。具体的に県や市と連携して関わっているのか、地域にも発信して理解を得ていく必要がある。
- ・地域の方にも補習等の補助や地域の方と連携した授業の実施を協力依頼できればと思う。

栗原小学校：

- ・読書の推進活動について、図書館司書、図書委員や保護者ボランティアによる読み聞かせの実施をしている。
- ・書くことが苦手な児童への対応について、日記や俳句等、子供の負担にならないような工夫をして、学校で取り組んでいくことが必要である。
- ・体験活動について、昔に比べると学校はいろいろなことを行っている。
- ・150周年記念集会は、児童企画で行った。地域の方がさらに入ってくるようになるとうい。

桜中学校：

- ・テストで自動採点システムの導入や生成AIの活用が進んでいる。経験則が知識としてのみ活用されている点が多く、そこが課題になっていると思われる。
- ・動画の利用で、人との関係が希薄になっている。動画を見るだけではできない、わからない部分を補っていく必要がある。
- ・CS協議会委員と教員が語り合える場を、夏休み等に企画できるとよい。
- ・人材登録について、システムはできている。登録した方を活用できる仕組みづくりをする必要がある。

- ・地域の方が気軽に立ち寄れるカフェを、校内に設置するとよいのではと考えている。

(4) その他

- 中泉委員からテストの自動採点システムの仕組みについての質問があった。
- 小林委員から手書きの答案用紙をスキャナーで読み込むことで採点ができるようになっているとの説明があった。
- 関委員：次年度、栗原小学校小規模特認校の取り組みについて
 - ・児童が考えたカフェの設置や栗原交流センター講座とのコラボを検討している。
- 事務局：コミュニティ・スクール協議会に関わるアンケートの依頼について先進地の事例紹介について

5 閉会

- 水谷副会長：本年度の桜学園コミュニティ・スクール協議会は、本日で終了となる。この会は、子供たちの未来のために地域と先生が本音で話し合える場である。このような場が私たちだけでなく、若い先生など普段話せない方とも話すことで様々なアイデアも出てくるかと思う。次年度につないでいければと考えている。

なお、来年度の委員の選出に関しては、1年ごとの任期となるため、後日学校から連絡がある。

本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきます。予定である。

令和7年度第4回桜学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年2月9日(月)

9：30～11：30

場所：栗原小学校 家庭科室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 協 議

- (1) 第3回桜学園コミュニティ・スクールの振り返り
- (2) 学園の教育活動や地域の活動事例の紹介
- (3) 熟議テーマ「学校の教育活動における今年度の成果と課題」
 - ・学校評価について
 - ・次年度の桜学園コミュニティ・スクールの方向性について
- (4) その他

5 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回桜学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年11月27日（木） 開会 9:30 閉会11:30		
開催場所		つくば市立九重小学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	酒井 政彦、後藤 美千代、久松 正樹、吉田 博、白砂 統己 米徳 康博、河田 憲作、天貝 貢、中泉 正市、宮本 孝礼 宮本 健次、池田 由紀代、飯岡 達郎、中埜 貴元、水谷 浩子 布施 拓 桜中学校 : 校長 小林 力 教頭 佐藤 貴之 栄小学校 : 校長 君和田 裕之 教頭 飯塚 真由美 九重小学校: 校長 中原 卓治 教頭 沼野 武 栗原小学校: 校長 関 美智子 教頭 山田 智久		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課 参事: 山口 健次 生涯学習推進課 社会教育主事: 村上 和宏 生涯学習推進課 地域連携教育指導員: 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「来年度を見据えた今後の活動について」		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶（会長、学園長） 3 授業参観 4 前回の議事の確認 5 協議 (1) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介 (2) 熟議「来年度を見据えた今後の活動について」 (3) その他 6 閉会			

<審議内容>

1 開会

○久松会長：ただ今から、令和7年度 第3回 桜学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。

なお、本日の会議に関しては「つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例」第3条に基づき、公開とします。また、会議録については後

日つくば市教育委員会ホームページに公開します。

2 挨拶

・久松会長からのあいさつ

栄小学区ではインフルエンザが流行っていることを耳にした。
桜中学校が70周年を迎えるとのこと

・小林学園長からのあいさつ

CSも少しずつ活動が入ってきている。どんなことにチャレンジできるのか、さらにアイデアが必要かなと思う。
子供たちをこの協議会に参加させたい。

3 授業参観

4 前回の議事の確認

○久松会長：ここからは会長の久松が進行します。

本日は、桜学園の第3回CS協議会の熟議等に入る前に、まずは第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。

前回の要点をまとめますと「5、6月の取組から見えてきた課題について」熟議を行い、その後の活動について何ができるか、各校ごとに様々な意見が出されていたと思います。詳しい内容に関しては、つくば市教育委員会ホームページにも掲載されますので必要に応じて御確認ください。

5 協議

(1) 学校の教育活動や地域の滑動事例の紹介

栄小学校（君和田委員）：

- ・5年生の宿泊学習、6年生の修学旅行等、校外学習を無事終えることができた。
- ・今月に入ってインフルエンザ等、様々な感染症の影響で学校閉鎖を実施した。
- ・10月に予定していた授業参観を12月に延期した。
- ・4年生が「金田台の自然を守る会」の方とともに活動できた。

栗原小学校（関委員）：

- ・10月に4年生インフルエンザにより学級閉鎖を行った。今月に入って2年6年で流行り始めたが、なんとか閉鎖まではいかずにすんだ。
- ・9月18日（木）に授業参観、10月25日（土）に運動会を実施し、事前準備等、保護者や地域の方々に協力いただいた。
- ・栗原小は今年度150周年を迎え、6月に航空写真撮影、11月20日（木）に150

周年記念のサイエンスショーを実施した。また、12月2日（火）に児童企画の集会を行う予定。

九重小学校（中原委員）：

- ・近隣の学校で学級閉鎖等が見られる中で、九重小も先週からインフルエンザが少しずつ流行りだしている。
- ・先月運動会を実施した。準備等は、おやじの会、地域の方々に御協力いただいた。今後もCSの制度を生かしながら児童がのびのびと学校生活ができるようにしていきたい。

桜中学校（小林委員）：

- ・コロナ禍の縮小から少しずつ行事等が復帰している状況である。運動会の1日開催について批判もあったが子供たちの想いを大切にして1日開催とした。できるだけ負担感を少なくして以前のように戻していきたいと思う。合唱祭はノバホールを借りて実施した。あわせて、プロの団体を招いて音楽鑑賞会を同時に開催した。
- ・11月には、本校の後援会の方々に御協力いただいて、奈良の薬師寺から講師を招いて、講演会を実施した。地域と共に子供を育てるのであれば、子供たちが聞いている話を地域が聞くことに価値があると思う。学校でやっている行事を地域展開することには、難しさもあると感じている。CSが一步踏み込んでやれることはないのかと感じている。

○地域や保護者から伝えたい取組等の報告について

栄地区（金田台の生態系を守る会 後藤委員）：

- ・CS予算で委員の方々にも配布したチラシを作成した。
- ・ゲンジボタルの環境を守るために、環境保全活動お手伝いを募集した。つくば市全体では難しかったが、桜地区の学校にスクリーンで流してもらい、協力が得られた。今後もお願いしたい。

会長（久松委員）：

- ・桜中付近の自然は、金田台の遺跡とともに後世に残していきたいものである。今後は、栄小だけでなく他の学校でも実施していきたい。地域の自然を子どもたちに伝えていくことも、CSの意義なのではないかと思う。
- ・栄小でも九重小のおやじの会の類似の組織をつくった。
- ・栗原地区（関委員）：
 - ・昨日11回目のさくら小学校開校準備委員会があった。そこでは、主に通学路点検結果の共有で、委員の方々から意見をもらう場だった。要望した件について、様々な要因でなかなか通らない状況だった。しかしながら、再考して申請していかなければならないと委員の方々も学校も捉えている。4月のスタートに向けて申請をすると、各区会からの申請をお願いすることになるかもしれないので、その際は、協力をお願いしたい。

(2) 熟議「来年度を見据えた今後の活動について」

○久松会長：これより、熟議に入りますが、熟議を進行するに当たり、ファシリテーターを九重小学校教頭 沼野委員にお願いしたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。では、沼野委員よろしくお願いいたします。

○九重小学校（沼野委員）

「来年度を見据えた今後の活動について」話し合いを進める前に、来年度のさくら小学校開校により、CS組織も変わることが考えられる。

今後も継続していく活動について改善点等はないか、桜学園全体として何かできることはないかなどについて、話し合いを進めてほしい。

<各学校ごとに分かれて熟議>約50分間

○グループごとの発表（話し合ったこと等の報告）

栄小学校（飯塚委員）：

- ・年度当初に作成した年間計画通りに進めることができている。金田台の生態系を守る会の方々の協力で自然観察の活動ができた。チラシ作成も今後も継続して進めていきたい。
- ・登下校見守りボランティアの方々は、これまで自費で安全ベストなどを着て行っていた。地域と学校の連携事業予算を使って、安全ベストを購入してボランティアの方々に渡していきたい。

栗原小学校（山田委員）

- ・来年度、CSの方は、さくら小も栗原小と一緒に立ち上げていってはどうか
- ・予算の使い方、防災キャンプを行う上で、どのように使っていくか確認した。
- ・通学路の安全面について、地域の方にお問い合わせすること等を確認した。
- ・次年度以降、以前に実施していたことを学校の方でも探していく。また、小規模特認校になることから、栗原交流センターで行っている講座を栗原小会場として行うことで、子供たちと地域のつながりをつくっていければと思う。

九重小学校（吉田委員）：

- ・継続に関して・・・昨年度から実施している「地域の伝統文化・歴史に関する出前学習や防災学習」を継続していく。地域住民への周知依頼をする。桜学園全体への協力を依頼したい。
- ・工夫・改善について・・・①協力いただける地域人材の確保を進めていく。②区長や民生委員にも協議会に加わってもらう。③地域の行事を行う上で、開催場所の融通をきかせてほしい。④子供たちの意見を取り入れていく。⑤過去の行事をレベルアップさせて復活させていくことを確認した。
- ・予算の使い方について・・・地域の行事にも地域と学校の連携事業予算を使えるようになるとういのだが。予算項目の見直しも必要である。
- ・PTA会長の立場から・・・保護者の意識が薄くなっているように感じてい

る。子供への熱量は高いが、学校への熱量が薄い。奉仕作業への協力であったり、PTA活動への協力であったり、年々薄くなっていると感じている。

桜中学校（小林委員）

- ・学校で行われていることにCSを入れるのではなく、CSの活動の場を学校に入れていく方が広がりがあるのではないかと。例えば、救命救急講習を学校を会場として、地域の人たちが行うことで、CSの活動の場が増えるのではないかと。思う。
- ・防災キャンプを3年ぐらいの期間で必ず開催するようにして、それをCSが中心になって実施していくことになるのではないかと。地域とのつながりをつくっていく上でもよいと思う。

(3) その他

○久松会長：今は4つの学校がそれぞれの立場で話し合っているが、全体的な活動の核となるものができるのではないかと感じている。

- ・生涯学習推進課から「地域も学校も共に活性化するためのコミュニティ・スクールはどうあるべきか」の答申について説明があった。
- ・子供がコミュニティ・スクール協議会に参加することは可能であることを確認した。

沼野教頭より次回の予定について確認した。

- ・第4回は、令和8年2月9日(月)栗原小学校で実施。
- ・詳細については、追って連絡する。

6 閉会

○久松会長：本日の「協議」の内容は、以上になります。

なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っております。委員の皆様、よろしいでしょうか。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。